

平成25年度 サワラ瀬戸内海系群の資源管理に
関する取組の実施状況等について

○漁獲管理措置(平成25年度)



※斜線部分は、春漁を規制
※さわら流し網の網目10.6cm以上(瀬戸内海全域共通)

サワラ放流効果調査実施計画書（岡山県）

1 試験の目的

人工生産したサワラの放流効果を把握するため、さわら流網を用いて試験操業を行う。

なお、瀬戸内海においては、瀬戸内海広域漁業調整委員会指示により、使用する網目を10.6cm以上としているため、瀬戸内海広域漁業調整委員会への報告を必要とする。

2 試験漁法 : さわら流網を用いた採捕

3 調査実施機関：岡山県農林水産総合センター 水産研究所

4 試験の内容

(1) 試験操業の時期等

- ・ 第1回目 平成25年10月 1日（予備日 2日）
- ・ 第2回目 平成25年10月 8日（予備日 9日）
- ・ 第3回目 平成25年10月15日（予備日16日）
- ・ 第4回目 平成25年10月22日（予備日23日）

以上、4日間実施予定（1隻×4日）

※天候の状況等により、日程に変更が生じる場合があります。

(2) 操業方法 : 各実施日1隻、1回操業(概ね17:00～22:00の間)

(3) 調査協力者 : 牛窓町漁協所属 廣田 均

(4) 使用漁船 : 0Y2-633（第八十八大漁丸） 9.1トン

(5) 網の目合い : 2.7寸（8.2cm）

(6) 調査予定海域：黄島沖以東の岡山県海面



(7) 担当者及び連絡先

- ・ 岡山県瀬戸内市牛窓町鹿忍6641-6（TEL：0869-34-3074）
岡山県農林水産総合センター水産研究所 竹本
- ・ 岡山県岡山市北区内山下2-4-6（TEL：086-226-7446）
岡山県農林水産部水産課振興班 飯野

平成 25 年度新規加入量調査（試験操業）実施計画書

1 目的

サワラ平成 25 年発生群の新規加入量の動向を把握する。

2 実施機関

香川県水産試験場

3 漁法

さわら流しさし網

4 内容

1) 時期と回数

平成 25 年 10 月 1 日から平成 25 年 10 月 31 日までの期間に、6 回実施する。

予定日：8 日、10 日、15 日、17 日、22 日、24 日（それぞれ翌日を予備日とする。）

天候の状況等により変更することがある。

2) 協力者

鴨庄漁協所属 鈴木一吉氏

3) 使用漁船

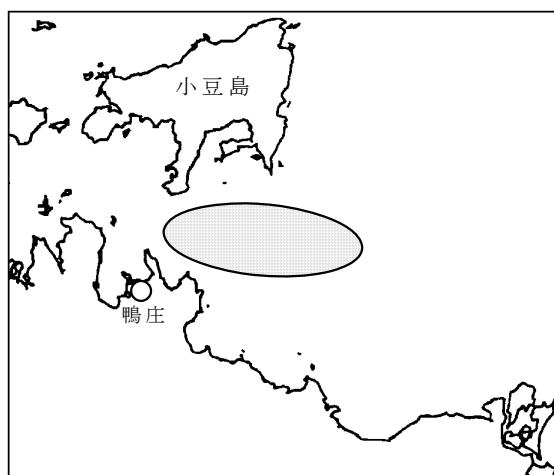
KA3-21340 眞栄丸 4.85 トン

4) 使用網

網目：2.7 寸（8.2 センチ） 長さ：15 反

5) 海域

地蔵崎と大串崎を結んだ線以東の香川県海面



調査予定海域

5 瀬戸内海広域漁業調整委員会への報告

瀬戸内海広域漁業調整委員会指示により、さわら流しさし網に使用する網目は 10.6 センチ以上と規定されているので、当該委員会への報告を必要とする。

H25年 周防灘サワラ流し網試験操業結果

1 目的

周防灘のサワラ産卵期の解明。

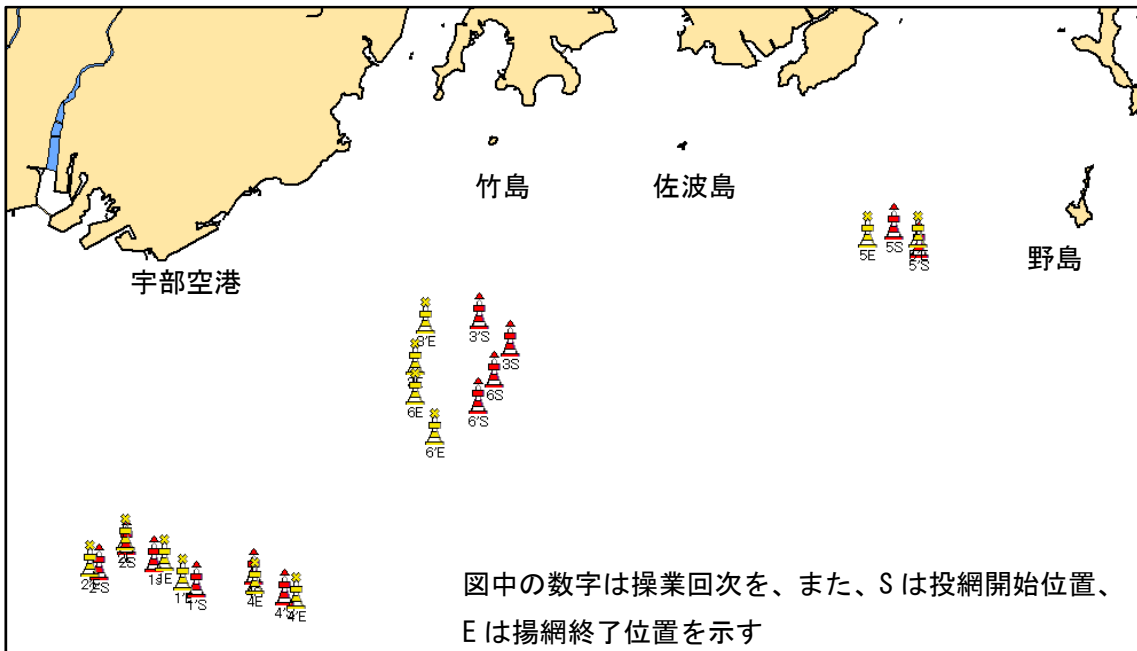
2 調査実施期間

H25年4月22日から6月13日の間6回（延12回）。

3 試験操業結果

回次	操業 年月日	使用漁船 船名	漁場		操業時間	使用 反数	サワラ 漁獲尾数	立会者
			投網開始位置	揚網終了位置				
1	H25.4.22	諏訪丸	33° 48' 31.990" N 131° 15' 53.070" E	33° 48' 33.990" N 131° 16' 11.920" E	17:33~ 22:10	15	2	水研職員
		玉訪丸	33° 47' 56.811" N 131° 17' 04.367" E	33° 48' 05.274" N 131° 16' 42.478" E	17:32~ 21:42			
2	H25.5.7	諏訪丸	33° 48' 54.982" N 131° 15' 08.725" E	33° 49' 02.787" N 131° 15' 05.729" E	18:28~ 22:18	15	2	行政職員
		玉訪丸	33° 48' 20.420" N 131° 14' 21.170" E	33° 48' 25.840" N 131° 14' 07.050" E	18:25~ 22:15			
3	H25.5.13	勝漁丸	33° 53' 32.780" N 131° 25' 51.820" E	33° 53' 07.600" N 131° 23' 11.320" E	18:42~ 21:57	13	0	水研職員
		満輝丸	33° 54' 11.314" N 131° 24' 59.394" E	33° 54' 03.989" N 131° 23' 28.383" E	18:46~ 21:53			
4	H25.5.22	勝漁丸	33° 48' 13.662" N 131° 18' 40.291" E	33° 48' 00.875" N 131° 18' 43.704" E	18:33~ 21:21	16	0	行政職員
		第二 潜宝丸	33° 47' 44.426" N 131° 19' 32.652" E	33° 47' 40.225" N 131° 19' 52.449" E	18:35~ 21:45			
5	H25.6.6	第二 潜宝丸	33° 56' 16.000" N 131° 36' 33.610" E	33° 56' 05.040" N 131° 35' 50.410" E	18:47~ 21:42	16	0	水研職員
		勝漁丸	33° 55' 49.976" N 131° 37' 16.850" E	33° 56' 04.894" N 131° 37' 14.563" E	18:52~ 21:53			
6	H25.6.13	勝漁丸	33° 52' 48.900" N 131° 25' 24.640" E	33° 52' 25.000" N 131° 23' 10.950" E	18:37~ 22:01	14	1	水研職員
		第二 潜宝丸	33° 52' 12.347" N 131° 24' 56.997" E	33° 51' 29.181" N 131° 23' 44.324" E	18:38~ 21:53			
計							7	

4 操業位置図



5 調査結果

(1) 漁獲されたサワラの生殖腺熟度

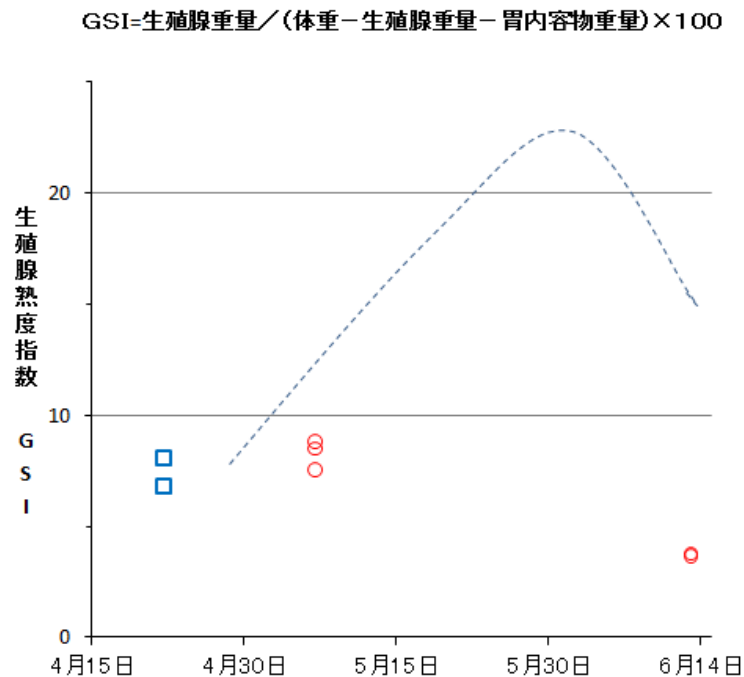


図1 生殖腺熟度指数の推移
(□:オス ○:メス 点線は予想される熟度の変化)

(2) 考察

サワラが漁獲されたのは、操業回次2回目までと最終回で計7尾であった。この海域ではまとまった分布がなかったと考えられた。

漁獲された尾数は非常に少なく、雄が2尾、雌が5尾の計7尾うち雌の1尾はサゴシ級で未成熟であった。

雌の卵が成熟を示す吸水卵が確認されたのは最終回に漁獲されたサワラの1尾のみであった。

また、1,2回次に漁獲されたサワラの生殖腺は未発達で、成熟には20日間から1ヶ月程度を要すると考えられた。また、最終回に漁獲された1尾は、卵巢の状態と生殖腺熟度指数の値から産卵後期に該当する個体と考えられた。

これらの結果から、図1に示したような熟度の推移が予想され、当海域における産卵期は5月下旬から6月上旬と予想はされるが、漁獲された尾数が非常に少なく、今回の操業結果から確定的な結論を導くことは不可能である。

よって、今回、本県より要望した操業期間の変更については、一旦、取り下げさせていただきます。

文献

横川 1995 サワラの産卵期における卵巢内卵数と卵径組成の経時変化 日水誌 61(5),689-694